



佐藤 シヅヨさん (荒川・74歳)

孫と一緒に今の生活が幸せ

★若い頃の仕事は
昔は学校から帰ると家の農作業を手伝いました。結婚してからは、炭焼きや養蚕、葉タバコ栽培など何でもやりました。働き尽くめの人生ですが苦労だと思っただけではないです。
★楽しみは何ですか
山歩きが好きなので、趣味と仕事を兼ねて松茸採りに出掛けることです。若い頃は真っ暗の

中、午前二、三時に、今は歳ですから四、五時に出掛けます。採れない日はもう行くのはやめようと思うのですが、気が付くと早起きして準備していますね。
★健康の秘けつは
健康のため特別なことは何もしていませんが、じっとしていることが嫌いなので、常に体を動かしていることですかね。
★最後に一言
夫は喘息の持病があり、入院の繰り返しですが、家族が仲良く暮らし、孫たちと一緒に生活を大事にしたいです。

イラスト



金子竜(7) MOTHER THE 山内菜緒(10) おのはるな(5) きどわきるな(6) 沼崎信明(16) フラワー(11) 佐藤将也(7) 佐藤孔太(5) ジョニー☆(7) 山崎克拓(?) 甲斐谷美沙樹(10) 平石凌(9) 山崎克拓(?) とも、すいませんでした。(13) むまざきはるか(7) 箱石奨(7)

みんなのスペース



あべ はやと くん (山田町第一保育所・5歳)

ぼくのゆめ

大きくなったらサッカー選手になりたいな。ベッカムみたいにかっこよくなるんだ。

投書

どんなことでも結構です。どしどしお寄せください。

交通事故の撲滅を願う

九月二日、全国交通安全キャラバン隊を迎えて、福田内閣官房長官のメッセージの伝達式が催され、キャラバン隊のさらなる活動と、本町の交通事故防止の強い決意を誓い合いました。その後、高齢者を対象に安全な横断歩道の渡り方の講習が町中央公民館で開かれました。大型モニターと仮設の横断歩道が設置され、モニターに映し出される車の映像を見ながら横断歩道を渡るテストに数人が挑戦。皆さんの前で緊張したのか不合格の方もありました。不合格とは、実際であれば車にはねられている状態。参加者はとても参考になったと思います。ちなみに、道路幅を七割とした場合、渡り終えるには五秒から八秒かかります。車のスピードを六十キロとすると、その車の前を横断するには、車との距離が約百メートル以上なければ安全に横

児童のおたよりに感謝

山田南小学校の児童の皆様、新年と敬老の日には必ずおはがきをくださりありがとうございます。いろいろと、わたしたち老人の体を心配してくださる文面に感謝申し上げます。おばあちゃん元気ですか、寒いからかぜをひかないよう体に気をつけて、長生きしてください——などと書いてあり、ありがたき思っております。今後ともよろしくお続けください。
甲斐谷七チ(八幡町・88歳)

秋祭りでの活性化を

意地悪く山田の秋祭りを妨害するかのようにならした超大型の台風14号。県沿岸部を直撃すると山田八幡宮や大杉神社の体罰を受けては大変と言いたげに日本海西部を北上し、北海道を通過していきました。そして山

秋祭り見に行けず残念

テレビ岩手の秋祭りPR番組を見て十年ぶりに見に行くことにしました。子供三人は初めての山田の秋祭り。前日、山田町商工会に電話をして駐車場の場所を聞き準備万端だったのに、子供二人が申し合わせたかのように熱を出し、行くことができませんでした。すごく残念です。佐々木久美子(田老町・28歳)

いつかまた関口神社へ

関口神社の「奥の宮」がとっても気に入って、広報やまだ八〇

二号に投稿したわたしです。奥の宮についていろいろ話を聞いて分かったことは、奥の宮の洞穴は大槌町金沢の和合という所の道に出るといことです。洞穴の中は人が通ることはできませんが、小動物が行き来しているそうです。いつかまた奥の宮にカメラ持参で行きたいです。和合にも行ってみたいと思います。
黒澤頼江(船越・?歳)
◇◇◇
鏡餅かさねかさねて老いをしり無事敬老の今朝を迎へて古藤野強(豊間根・78歳)

八月も夏空無しに今日も暮れ佐藤菊實(荒川・75歳) 祭り終へ笛の音淋しく山車帰る 佐藤照男(川向町・?歳) 長雨と日照り不足の冷夏にてとぎれとぎれの蟬しぐれ つゆ明けせぬ間に秋深し 道化師(荒川・13歳) 夕映えの御所湖のほとり つぶら実の な、かまど紅くそよ風に揺る みえこ(大沢・83歳) 冷夏にて希望と不安を胸に抱き通う足どりいつい重く 頭たれ得ぬ稲穂かな 百々花(荒川・?歳) 月を見て だんごを食べて 夜ふける 坂本裕香(船越・11歳) 霧深く三重に巻いても余る秋 塩屋岬の歌碑は濡れるて 陽子(織笠・65歳) 賜わりし岩しのぶ草愛ですつつ 我に分けあふ心やさししも 千代川貞(大沢・77歳) 秋祭り豊作祈りし童心で どの人も皆幸にけり 大町テイ子(大沢・?歳) 夕暮るる雨の晴れ間に ひぐらしの冷夏の山に わびしく鳴くも 菊地サカエ(織笠・68歳) 彼岸入り心静かに祈りつつ 佐々木エミ子(飯岡・?歳)